

## 台風6号接近に伴う農作物管理対策（26日現在）

### 7月27日から28日にかけて本県に近づく見込み

令和元年7月26日に台風6号が発生しました。台風に関する情報によると、7月27日から28日にかけて東海～関東を進む進路予想となっています。

本県においては、台風の影響でフェーン現象による高温や強風が予想されますので、農作物等の適切な管理に努めてください。

なお、今後発表される気象情報に十分注意してください。

## 農作物の管理対策について

### 1. 水 稲

- 現在、極早生・早生種の出穂期を迎え大事な時期です。フェーン現象が予想されますので、白穂や着色粒等の障害発生を防止するため、降雨の予報内容にかかわらず、用水の確保に努め、速やかに湛水してください。
- 事前に排水路を点検・整備する。

### 2. 大豆

- 排水路及びほ場内の排水溝を事前に点検・整備する。
- フェーン現象が予想される場合は、ほ場の乾燥を防ぐため暗渠栓を閉める。

### 3. 園芸関係全般

- 施設の補強点検を行い被害を最小限に食い止める。
- 収穫期にあるものは、可能な限り収穫する。
- フェーンのときは、十分灌水を行う。（飛砂防止）
- 台風通過後は病虫害の異常発生が予想されるため、薬剤防除を実施する。

### 4. 葉たばこ

- 施設の補強点検を行い被害を最小限に食い止める。
- ハウス内のたばこは、作業場に取り込むか連寄せをする。

### 5. 畜産

- フェーン現象が予想される場合は、熱射病等の家畜疾病を防ぐため、密飼いを避け、送風機、細霧システム等の暑夏対策を徹底し、家畜の体感温度の低下に努める。
- 畜舎の点検・整備を実施し、浸水が予想される場合は、飼料配合・乾草等が濡れて腐敗しないよう、場所を移動する。